

OCP-IP が新規 6 メンバーを発表

オレゴン州ポートランド – 2006 年 5 月 9 日 – OCP-IP (Open Core Protocol International Partnership) は、本日、次の 6 メンバーの新規加入を発表しました。Cologne Chip 社、European Space Agency (ESA)、MITRE Corporation、Jasper Design Automation 社、OnDemand Microelectronics 社、および University of Bologna (ボローニャ大学)。新規メンバーが有する広範な技術は、OCP 規格が業界全体で幅広く支持され、採用されていることを物語るものです。

Cologne Chip 社は、1994 年に設立され、基本速度および一次群速度アクセス用の ISDN コントローラを開発および製造しています。同社は USB、PCI または PCMCIA 経由でインターネットアクセスに用いる ISDN カードおよび ISDN ターミナルアダプタ用にシングルチップソリューションを提供しています。PC アプリケーションに加え、ほとんどすべての埋め込み型アプリケーション (ISDN PBX、デジタル電話、VoIP ゲートウェイ、IAD (Integrated Access Devices: 統合型アクセス装置)、POS 端末、LAN ルーター、ISDN テスト機材、およびテレビ会議など) に対応する高統合型 HDLC コントローラおよび ISDN トランシーバチップが利用できます。

European Space Agency は、欧州の宇宙開発を推進しています。ESA には、17 ヶ国が加盟しています。オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、アイルランド、イタリア、ルクセンブルグ、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス。また、協力協定により、カナダ、ハンガリー、チェコ共和国も一部のプロジェクトに参加しています。ESA は、宇宙開発技術への投資が、そのまま欧州市民の利益につながるように、IP 再利用に向けて OCP を活用していきます。

MITRE Corporation

は、非営利団体であり、公益事業として認可を受けています。米国の国家リソースとして、システムエンジニアリング、情報技術、作戦概念、企業近代化における専門知識を活用し、スポンサーの重要なニーズに対応しています。MITRE は、連邦政府予算による 3 つの研究開発センター (国防総省、連邦航空局、国税庁に所属) を管理しています。また、MITRE は、新規技術開発と、技術の新規利用方法について、独自の研究開発プログラムを保持しています。

Jasper Design Automation 社は、IC

の完全なフォーマル検証により顧客に競争優位を提供するという使命の下に設立された株式非公開の EDA (Electronic Design Automation: 電子設計自動化) 企業です。同社の主力製品である JasperGold Verification System

は、予測可能な有限のスケジュール制約内に完全にシステマチックな検証タスクを実現する業界初の検証製品です。JasperGold は、複雑な IC

設計ブロックが、仕様として定義された高レベルな要件に適合していることをフォーマルに検証すると共に、テストベンチ開発を必要とすることなく、すべての使用モード下で IP ブロックを事前検証します。

OnDemand Microelectronics 社 (ODM) は、デジタル TV

半導体開発のリーディング企業であり、高解像度、マルチスタンダードのビデオ、画像、およびベースバンド処理における完全にソフトウェアプログラム可能なコアを提供しています。ODM

は、オーストリアのウィーンに本拠地と設計センターを置く企業で、Analog Devices

社から直接独立した形で設立されました。また、セールスおよびサポート事業所が、テキサス州オースティン、ミュンヘン、台北に置かれています。

University of

Bologna (ボローニャ大学) は、イタリアのボローニャ、チェゼナ、フォルリ、ラベンナ、およびリミニの各都市に 23 学部、68

学科に分かれたマルチキャンパス構造を提供する西欧諸国で最も古い歴史を持つ大学です。OCP-IP

大学プログラム メンバーは、無料のソフトウェア

ツール、技術サポート、および課程に組み込まれているか、あるいは学生による直接的な個別学習という形で準備されているパッケージ化されたトレーニングを受けることができます。このプログラムは、学部課程に適しており、大学院課程や授業を実務的に補強する支援となっています。

CP-IP メンバーは、無料のトレーニングおよびサポート、ソフトウェア

ツール、マニュアル類を受け取ることで、SoC

設計上の課題に焦点を当てることができるようになっています。OCP-IP

のインフラストラクチャを活用すると、内部的に設計、マニュアル化、トレーニングを行って独自の規格やサポート

ツールを発展させる必要がなくなるため、実際の設計作業に重要なリソースを自由に使用できるようになり、多額のコスト削減につながります。

OCP-IP の Ian Mackintosh

会長は、次のように述べています。「この新メンバーは、商用製品のさまざまなラインナップを代表しており、多くの市場でOCPが幅広く支持され、採用されているさらなる強固な証明となります。我々は、新メンバーの加入を発表し、また各新メンバーが参加してくれることを大変に光榮に思っており、今後も共に作業を行っていくことを楽しみにしています。」

OCP-IP について

OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP) は、2001年、相互接続可能な仮想コンポーネントの迅速な作成と統合を保証する包括的なソケット標準規格として、Open Core Protocol (OCP) を推進およびサポートする目的で発足しました。OCP-IP の Governing Steering Committee には、Nokia 社 [NYSE: NOK]、Texas Instruments 社 [NYSE: TXN]、東芝セミコンダクターグループ (Toshiba America TAEC を含む)、および Sonics 社が参加しています。OCP-IP は非営利団体であり、システムレベルの統合化要件を総合的に満たす、フルサポートされたオープンライセンス方式のコア中心プロトコルを、世界で初めて提供しました。OCP を使用することで、IP コアの再利用が容易になり、SoC の設計期間、リスク、および製造コストを削減できます。OCP ソケットは VSIA により承認されており、OCP-IP は VSIA に加入しています。詳しい背景やメンバーの情報については、www.OCP-IP.org をご覧ください。

追加情報については、次の窓口にお問い合わせください。